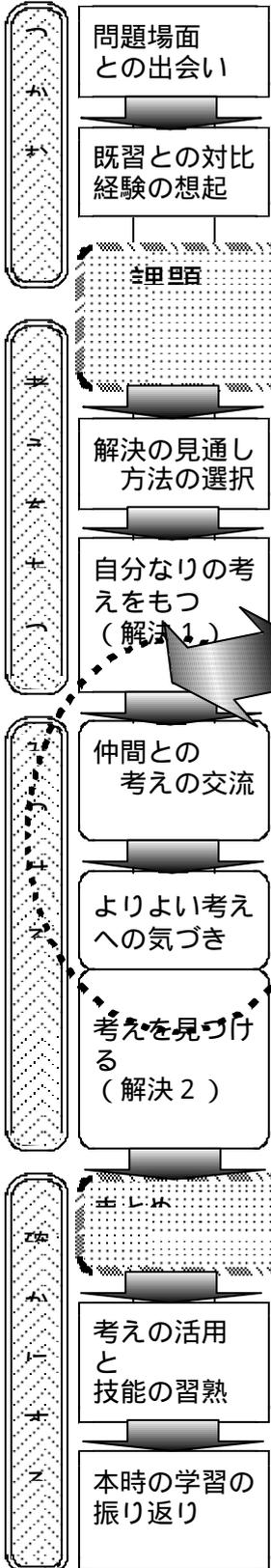


「こうするのが一番よさそう」を生み出そう

目標



互いの考えを交流して、よりよい方法に気づく

- ・ ~の方法で考えるとできるね
- ・ 似ている方法は、どれだろう？
- ・ 早い・簡単・わかりやすい方法はどれかな？
- ・ 別の方法ではできないかな？

【ポイント】
 「みつける段階」で大切なのは、互いの考えを比較検討する中で、よりよい方法に自ら気づいていくことができるようにすることです。

自分の考えをすべてだしきっちゃおう

方法1 ペアを活用しよう

ペアで自分の考えを「はじめから最後まで話しきる活動」を位置づけてみましょう。
 時間は2分もあれば十分です。そして、余った時間をつかって、発表への準備をしましょう。(はじめ・つぎに・だからをここでも使わせることが肝要)

方法2 つないで話そう

全体交流では、いくつかの方法や考え方ができたのかをまず明らかにしましょう。そのためにも、次の言葉を使えるように指導することが大切です。

はじめ・つぎに・だから
 「ぼくは、~でやってみようと思って、はじめに・・・をしました。次に、・・・だったので~をしようと思ったけれど、君に似ていて~少し違うんだけど・・・
 友達の名前や、その方法の似ているところを指摘しながら話す。

方法3 「早い・かんたん・わかりやすい・いつでもいえるか」でつながろう

合い言葉はカップラーメン(早い・簡単・・・)
 「~さんの方法はわかりやすいんだけど・・・」
 「僕はこの方法がいつでもいえるかどうかを調べてみたんだけど・・・」「かんたんにできるとあって・・・」

つなぎ言葉をかならず使わせて交流しよう
 「ぼくは、~でやってみようと思って、はじめに・・・をしました。次に、・・・だったので~をしようと思ったけれど、・・・だったので・・・」

方法4 「たとえば・・・」で検討しよう

他の問題でも使えるかどうかを目を向けさせよう
 「たとえば・・・のときにもできるかどうか調べてみたんだけど・・・」
 「他の問題でも調べたんだけど・・・」
 「こっちの方がよさそうだ」と判断させよう
 「早いということからすると・・・の方がいいと思うんだけど・・・」
 「こんな時にはどうするのですか・・・」
 といわせよう。